

クロム活用シート

6年 理科

1. 単元名『生き物どうしのかかわり』

2. 本時の評価規準

生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。【思考・判断・表現】

3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題、学習活動を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ほかの動物の食べ物を調べ、生き物の食べ物を通したかかわりについて分かったことをまとめよう</div>	A1 オクリンクのカードを電子黒板に表示し、記入の仕方を説明する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 4つの動物から1つの動物を選び、その動物の食べ物のもとを調べる。 友達の調べた結果と自分の調べた結果を比べ、共通点を見つける。 C:どの動物も食べ物のもとは、植物になっている。 C:食べ物のもとが植物になるのは、植物は自分で成長のための養分を作ることができるのに対し、動物は自分で成長のための養分を作ることができないという違いがあるから。 	B2 インターネットで、動物の食べ物のもとを調べる。 C1 調べた結果をオクリンクのカードで提出する。友達のカードと自分のカードを見比べて共通点を探し、2枚目のカードに記入する。
終末	学習のまとめをする。	

動物の食べ物のもとをたどると、植物に行き着く。植物は、日光に当たると、でんぷんをつくり、それを使って成長する。しかし、動物は自分で養分をつくることができないので、植物やほかの動物を食べて、その中にふくまれる養分をとり入れる。

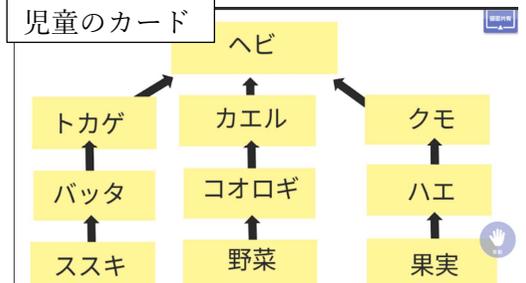
4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

II	思考力・判断力・表現力等	I	問題解決・探求における情報を活用する力
		②	新たな意味や価値を創造する力
			情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する。

A1 教師による学習活動の説明

使用するアプリ等 「オクリンク」

	活用の流れ
①	学習に使うカードの型を作っておき、提示しながら記入方法を確認する。



<https://bso.benesse.ne.jp/miraiseed/fansite>

B2 インターネットによる調査

使用するアプリ等 「Google」「オクリンク」

	活用の流れ
①	インターネットで、動物の食べ物のもとを調べる。

C1 発表や話し合い

- | | |
|---|----------------------------|
| ② | 自分の調べた結果と友達の結果を比べ共通点を見つける。 |
| ③ | 共通点をカードにまとめる。 |

児童のカード

調べた結果や友だちとの交流でわかったこと

動物の食物連鎖は、最終的に草（色々の中にくさも含まれる）、自然で自分で、養分を作れる植物にたどり着く。

活用の効果

オクリンクを活用することで、クラス全員の調べた結果を chromebook で見て自分の考えと比較することができた。クラス全員の調べた結果を自由に見られたので、たくさんの結果を見ることができ、共通点を見つけることにつながっていた。